



2008～2009年度

中津平成週報

2008～2009年度 国際ロータリー・テーマ

夢をかたちに

Make Dreams Real

国際ロータリー会長 李 東建

国際ロータリー2720地区 中津平成ロータリークラブ

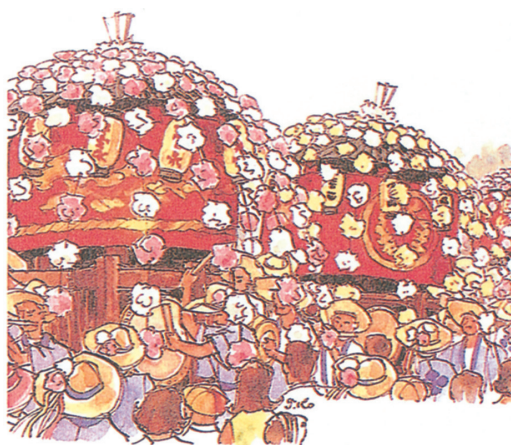
会長 加来敏男 幹事 矢頭和敏 会報委員長 田原和己

例会日/毎週木曜日 12:30 例会場/グランプラザ中津ホテル ☎24-7111

事務局/〒871-0055 中津市殿町1383の1 中津商工会館2F

☎0979-22-9716 FAX 0979-22-9722

e-mail office@n-heisei.org http://www.n-heisei.org/



第934回例会 平成21年6月4日(木)

◎本日の例会プログラム

20周年事業を終えて 20周年実行委員会

◎次回例会プログラム

新入会員卓話 山口晃人会員

前回(933回例会)の記録

平成21年5月28日(木)

■ビジター

宿利公夫君
中津中央RC

■出席報告

会 員 数 30名
免 除 者 数 0名
対 象 者 数 30名
本日出席者 21名
欠 席 者 数 9名
出 席 率 70.00%

■前々回出席報告の修正

前々回欠席者 7名
メイクアップ 1名
欠 席 者 6名
修正出席率 75.86%→ 79.31%

●メイクアップ

辛嶋(中津RC)

●欠席者

長野(定)、長野(修)、梶原、松本、白石、渡邊

◎ロータリーソング 四つのテスト

◎会長の時間 会長 加来敏男

5月17日の日曜日に、大分県歯科医師会主催、中津歯科医師会主管で歯科祭が行われました。我々歯科医師は歯科医師免許を持っていなければなりません。ちなみに私は7万2千番台ですが、歯科医師免許第1号は中津市出身の小幡英之助先生なのです。小幡先生は明治2年、福沢諭吉先生の慶応義塾で塾長をしていた叔父の小幡篤次郎先生を頼って、医者になるべく上京しました。最初は医師の勉強をしていたのですが、手先が器用なので歯科医師に向いているだろうと言われ、アメリカ人歯科医師エリオット先生に弟子入りし、歯科医師になりました。明治8年に医師免許制度が出来た時に、歯科医師免許制度をつくるように働きかけ、自分が第1号になったのです。それまではツゲの木を削って義歯を作る入れ歯師や漢方薬などを処方して治療する口中医がいましたが、小幡英之助のように日本で西洋歯科学を習得した人はいませんでした。小幡先生は東京で開業しましたが、中津から多くの人が弟子入りして歯科医になりました。私は加来歯科の3代目ですが、現在の私が歯科医をしているのは、小幡英之助先生のお陰だと思っています。今年は小幡先生が亡くなって100年ということで、盛大に

神事、講演会と式典を行いました。講演会の講師は中津ロータリークラブの川島真人会員で、小幡先生と中津蘭学について講演して頂きました。中津からは多くの素晴らしい方が輩出されているのには驚くばかりです。小幡家の実家は旧小幡記念図書館で、現在は歴史民俗資料館となっています。小幡篤次郎先生の遺志で小幡家の所有地に先生の蔵書で図書館を造ったのです。現在、図書館は新しくなりましたが、名称は引き継いでいます。

◎幹事報告 幹事 矢頭和敏

- 例会変更 中津RC 6/24 18:30～グランプラザ、別府北RC、宇佐RC
- 週報受理 なし
- 週報お礼 壽崎パストガバナー
- 幹事報告
 - ・ロータリアン誌届いています。
 - ・中津RCより6月のプログラムが届いています。

◎委員会報告

- ・小野次期幹事
 - 家庭集会を開いて来期の活動について話し合いをして下さい。

「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」 “He Profits Most Who Serves Best”

◎ニコニコボックス

○若松会員

子供達3人が東京で別々に住んでいましたので今度、一緒に住むことにしました。色々な面で助かります。

○永松会員

大和会員は昼の例会が初めてですね。出席が出来ない時はメーキャップも出来ますので宜しくお願いいたします。

○小路会員

若松会員の話と同じく私も息子達3人を久留米大学医学部に行かせたので同じ家に住まわせました。

○加来会長

母の一周忌があり、明蓮寺の重松住職にとっても良い話をして頂きました。

○江淵会員

先週のロータリー夜学、有難うございました。

○小野会員

未だ、20周年のマグロの話題が出ます。

◎新入会員卓話

「自己紹介」と「会社の取り組み」について

川崎 潤会員

●自己紹介

昭和43年生まれの41歳（厄年）

出身は埼玉県春日部市、育ちは千葉県四街道市

家族構成は、嫁とトイプードル1匹

住まいは、吉富町

趣味は、ゴルフとお酒

大学卒業後、トステム(株)情報システム開発室に入社（SE）として従事、トステムグループ内の企業家募集があり、学生時代より何でもいいから自分で商売がしたい。と思っていたので迷わずに応募しアイフルホーム中津店に加盟。当時、テリトリーの問題で他の地区か、中津かと悩みましたがお世話になった人と馬があったので中津を選択した。

平成8年9月に来中津。現事務所地にモデルハウスオープン開業。

平成14年には、日出にアイフルホーム別府店を出店。

平成19年7月、子供用品リサイクルショップ「キッズショップ」をオープン。

平成20年7月、新モデルと新事務所に移転。

平成21年5月、モデル隣接に洋食レストラン誘致。

初めて中津で生活を始めた時にビックリしたことは、言葉の違いからか、必ず「あんた、どこの人？」と聞かれた事でした。関東にいた時には正直、住んでいる場所を聞かれることはあっても、出身を聞かれた事はありませんでした。また、車で走っていたり、飲みに出た際にかんりの確率で知り合いとすれ違ったり、会ったりとこれも初めての経験で「悪いことは出来ない町だなあ」と感じました。私も飲むのが好きで、こっちにきて、1、2年は週に4日位は一人で飲みに出ていましたが段々と知り合いと会う機会が増えてきて、逆に一人で飲む機会が減ったのを覚えています。

また、他の面では蛇を見たのも、20年ぶり位だったし、ホテルがこんなに生活の近くにいるのも初めての経験でした。

ただ、仕事場は家と近いし、ラッシュもないし、物価は安いし、温泉も近いし、ゴルフ場も安くて、近いし、と生活するには非常に生活しやすいなあと感じました。

学生時代は東京など刺激的で面白いのですが、東京で

飲んでも、中津で飲んでもお酒の味が同じことに気が付く年齢になったら、非常に生活しやすい所だと思っています。

こちらで生活を始めて、もう13年経ちましたが、今では、東京から帰ってくるとホッとするくらい。この人間になっています。また、最初は大方弁が耳についたけれども今は、標準語が耳に付くようになりました。

思い切った決断したね？と言われるが、当時は、何でもいから独立したいとの思いが強く、そのチャンスがアイフルホームという形で舞い込んできただけ。

しかも、大それた事をしたなあと半年ほどして気がついたが、もう後戻りできない状況であった。

また、知らない土地によく来たね？ともよく聞かれるが、これまでの自分を振り返った時、その時々になるべき人に会ったり、アドバイスをもらったり、その流れにのってきたら、結果的にどうにかなってきたと実感していたのでどうにかなるだろうと楽観視していた。

学生時代も中学受験をする友達がいて、「じゃあ、俺も！」ってくらいの気持ちで受験し、高校・大学は試験勉強することなく行きましたし、トステムに入社する際も大学時代に家庭教師のアルバイトをしていたところのお父さんがトステムに勤めていて「うちの試験受けない？」と言われて、他は全く会社案内も行かずにトステムに入りました。

こちらに来てからも地の利がない部分は、然るべき人に不思議と会えたり、良いアドバイスを頂いたりで何とか、クリアできてしまっている。しかも、仕事以外で知り合った方からの助言やアドバイスが非常に役に立っている。その中で、このロータリーのお話もちょうど、異業種の方々と知り合うきっかけを考えていた所に永松さんよりお話を頂いたので、そういう御縁と思いました。また、20周年記念式典の日が私の誕生日であり、それも初参加の例会で聞きましたので何か縁があるのかなあ？と思っている。

次に会社の取り組みについてですが、私は今は建築業についていますが、子ども用品のリサイクルショップなどもやっています。また、4月より、このリサイクルショップやうちのお施主様に限定して家電販売もしておりますし、今月より、同一敷地内にレストランを誘致して開業しています。また、ペット関係の業者さんとも提携をしたり、子ども用品のお店に看板犬をおいて、チラシにどんどん載せたり、とちょっと変わった広告宣伝をしています。また、機会がありましたら、うちのHPを見て頂くと、建築会社？と思うような所があると思います。

うちで建てて頂いたOB施主様との関係についても定期点検だけでなく、この夏には子供さんのいる家庭にすいか取りや畑作業の企画も考えたりして、住宅と関係ない接点を設けるように考えています。

ただし、うちの事業展開は横に広げるつもりはなく、本業の建築業の後押しになるように他業種を使うという考え方で行っています。考え方として新築をしていたら、洋風・和風やリフォームに力を入れるなどの事業展開が一般的で、自分もそれを考えていましたが、それをしたら長年建築を営んできた方々に追いつくことはできません。ましては、自分は地元の間人ではないので、学生からの同級生などがいませんので難しさを感じていました。色々な商品を持つことは魅力ではありますが、ソフト部分で差別化を図っていくと考えています。

全く、関係ないような業種ほど今までにないような企画やコラボレーションを行えると思いますので、今後も業種を問わず色々な形で提携・展開を図りたいと考えています。その中で、このロータリーが大きな転機になったらいいなあと思っています。

（文責：田原）